

消火器の正しい使い方

※ 消火器の使い方

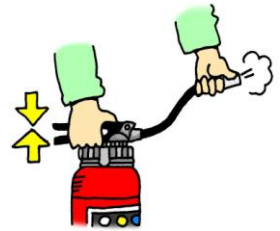
◎ いざというときのために、家庭に消火器を備え、正しい使い方を身につけましょう。



①安全ピンに指をかけ、上に引き抜く。



②ホースをはずして火元に向ける。

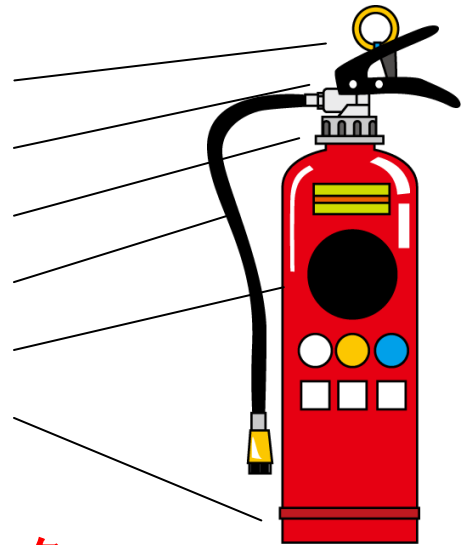


③レバーを強く握って噴射する。

※ 消火器の各種名称と点検箇所

◎ 消火器を使用の際に、破裂事故やけがなどしないように次の箇所を点検しましょう。

安全ピン	変形や損傷はないか、封印されているか
レバー	変形や損傷はないか
キャップ	変形やゆるみはないか
ホース	亀裂や劣化ゆるみはないか
本体	変形やサビはないか
底部	変形やサビはないか



※ 消火器に表示してある3つの色、マーク



A 火災【普通火災】

木材、紙、繊維などが燃える火災

B 火災【油火災】

石油、その他の可燃性液体、半固体油脂類

C 火災【電気火災】

変圧器、配電盤など電気設備の火災

- ・防火講習会や防災訓練等に参加し、消火器を実際に使用し、使い方を身につけましょう。
- ・保管場所については、高温多湿を避けて設置し、家族みんなが消火器のある場所を知っておこう。
- ・火元に近すぎるとヤケドのおそれがあります。距離をおいて消火活動をしてください。
- ・消火器の耐用年数はおおむね8年となっています。耐用年数内であってもサビ、腐食、変形やキズなどが見られる消火器は強度上危険です。また、不要消火器の廃棄は、最寄りの消火器販売業者にご連絡ください。

※ 消火器を入れ替える際には、「蓄圧式」を推奨しています。